

令和4年5月27日（金）  
都市センターホテル コスモスホール  
（オンライン併用）



全国医学部長病院長会議  
令和4年度定例社員総会  
議 事 録

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

一般社団法人 全国医学部長病院長会議  
令和4年度 定例社員総会議事録

1. 開催日時 令和4年5月27日 12時30分～17時30分
2. 開催場所 東京都千代田区平河町2-4-1  
都市センターホテル コスモスホール
3. 会員(社員)総数 164名
4. 出席会員(社員) 164名(うち委任状出席 20名。  
また、83名はWEB会議システムによる出席)
5. 出席理事 湯澤由紀夫、尾野恭一、竹石恭知、金井隆典、平田修司、染矢俊幸、  
中山 淳、高橋 智、須藤啓広、岩井一宏、友田幸一、三木崇範、  
小玉正太、山縣和也、小笠原邦昭、篠塚 望、瀬戸泰之、内田信一、  
山本謙吾、渡辺雅彦、松山幸弘、南 敏明、前田嘉信、杉山 隆、  
中尾一彦、大屋祐輔、  
(以上30名中26名出席。湯澤会長、小玉理事、瀬戸理事、内田理事、  
渡辺理事、大屋理事以外はWEB会議システムによる出席。)
6. 出席監事 別所正美、稲垣暢也
7. 議長 会長 湯澤由紀夫
8. 議事録作成者 会長 湯澤由紀夫
9. 議事の経過の要領及びその結果

上記のとおり過半数の社員が出席し本会は適法に成立した。よって、会長 湯澤由紀夫 は定款の規定により議長席に着き開会を宣し、WEB会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議事に入った。

〔会長報告〕

会長から、前回の令和3年5月28日定例社員総会以降から本日までの活動等について報告があった。

〔講演会〕

- (1) 最近の医療情勢とその課題 /日本医師会 中川 俊男 会長
- (2) スポーツを通じた健康増進 /スポーツ庁 室伏 広治 長官
- (3) 医師の働き方改革  
/厚生労働省 大臣官房 医政、医薬品等産業振興、精神保健医療担当 大坪 寛子 審議官
- (4) 医学教育の現状と課題 /文部科学省 伊藤 史恵 医学教育課長

#### [確認事項]

前回の令和3年5月28日定例社員総会議事録の確認が行われた。

#### [報告事項]

##### 報告1：令和3年度事業報告について

議長の指示に基づき、事務局長 榎山 博が、4月28日開催の理事会において承認された、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日）における本会議の事業状況について、別紙に基づき詳細に報告を行った。

#### [審議事項]

##### 第1号議案 令和3年度決算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 榎山 博が、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日）における本会議の計算書類等について詳細に説明をした。

議長がこれについて監事の報告を求めたところ、監事 別所正美と稲垣暢也は、計算書類等を綿密に調査した結果いずれも正確かつ適当であることを認めた旨を報告した。

よって、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認された。

##### 第2号議案 令和4年度事業計画承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 榎山 博が、本会議の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の事業計画案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

##### 第3号議案 令和4年度収支予算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 榎山 博が、本会議の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の収支予算案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

##### 第4号議案 会費規程の改正について

議長が本議案について別紙に基づき説明した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりWEB会議化がすすみ旅費等の支出が少なくなったため、今後の推移も検討し、令和4年度から会費を1大学130万円から10万円引き下げ、1大学120万円に減額する規定改正案について説明がなされた。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

## 第5号議案 役員の選任について

議長は、定款の規定により理事及び監事の全員が本社員総会終結をもって任期満了となるため、その改選につき別紙のとおり選任したい旨の説明があった。

議長がこれを議場に諮ったところ、いずれも満場一致をもって原案どおり賛成し、下記の者が選任された。なお、被選任者はその就任を承諾した。

就任理事 畠山鎮次、八重樫伸生、田中 誠、種市 洋、小湊慶彦、小風 暁、  
寺内康夫、木村 宏、笠井謙次、松村 到、細井裕司、篠田 晃、  
降幡睦夫、北園孝成、菱川善隆、大山 力、南谷佳弘、横手幸太郎、  
松本守雄、近藤晴彦、坂本哲也、富田善彦、蒲田敏文、秋山治彦、  
夜久 均、眞庭謙昌、原田 省、香美祥二、田中文啓、三股浩光

重任監事 稲垣暢也

就任監事 新井 一

### [委員会報告事項]

下記の各委員会から、別添資料に基づき、委員会報告がなされた。

#### (1) 医学教育委員会／齊藤 延人 委員長

令和3年10月に各大学における新型コロナウイルス感染症への対応に関するアンケート調査を実施し情報提供を行った旨の報告があった。共用試験の公的化については、2月14日に要望書を提出した、また、3月に共用試験の公的化に関するアンケート調査を行い、その結果を厚労省、文科省に提出すると共に、3月30日の医道審議会（医師分科会医学生共用試験部会）の参考資料として取り上げられ、要望を伝えることができた旨の報告があった。

#### (2) DPC（包括評価支払制度）に関するワーキンググループ／林 篤志 座長

本年4月に医療機関別係数アンケートを実施した旨の報告があり、これまでの経年変化を交え、結果について説明があった。

#### (3) 大学医学部入学試験制度検討小委員会／代理 湯澤会長

昨年度、令和2年、令和3年入学試験に関するアンケート調査を実施しており、結果がまとまり次第、各大学に結果を報告するとともに、公表を行う予定としている旨の説明があった。

#### (4) 医師養成のグランドデザイン検証ワーキンググループ／竹石 恭知 座長

本年3月31日に「我が国で求められる医師養成のためのグランドデザインへの提言－卒前・卒後のシームレスな医学教育を目指して－」を取りまとめ、冊子を発刊した旨の報告があった。AJMC ホームページでも公開されている。

#### (5) 国家試験改善検討ワーキンググループ／岩間 亨 座長

本年2月に行われた第116回医師国家試験に関してアンケート調査を実施した旨の報告があった。今回は81大学の国試を受験した学生を対象にWEBでアンケートを実施し2,116名から回答が得られた、また医学部長・教員を対象としたアンケート調査、卒後3年程の医師を対象としたアンケート調査、委員による問題評価を行い、報告書として取りまとめる予定である旨の説明が

あった。結果は8月末に報告予定である。

(6) 専門医に関するワーキンググループ／古川 博之 座長

令和4年2月にオンラインにてワーキンググループを開催し、「専攻医マイページ」、「シーリング」、「マッチング」について検討を行った旨の報告があった。マイページについては専門医機構からの説明が不足している、シーリングについては効果について検証すべきであり医師少数圏の医師増加は限定的である、マッチングの導入については時期尚早との意見が多数であった旨の説明があった。

(7) 共用試験検討委員会／佐藤 慎哉 委員長

医学教育委員会と連携しながら共用試験の公的化についての対応について議論している旨の説明があった。令和3年10月に厚労省から共用試験の公的化に向けた論点が示され、これに対応するため11月から12月にかけてアンケート調査を実施、その結果を基にAJMC、文科省、厚労省、CATOの4者で意見交換を行い、その後2月14日に要望書を提出した。また、医道審議会の医学生共用試験部会に向けて大学の現状を伝えるための緊急アンケートを実施し、その結果は医学生共用試験部会で参考資料として取り上げられ、その審議結果にも反映されたものと考えているとの説明があった。より具体的な運用や財政的な支援についての要請も引き続き行っていく予定としている。

(8) 医学部大学院のあり方検討委員会／代理 湯澤会長

減少傾向が続く研究医・医学研究者の養成を推進するため、医学部大学院の研究環境や実態など様々な問題を明らかにすることを目的としてアンケート調査を実施し、その結果を分析・検討したうえで、医学部大学院の現状と問題点についてまとめたアンケート結果をAJMCホームページ上に公開した旨の報告があった。

(9) 動物実験検討委員会／代理 湯澤会長

動物実験の必要性や動物福祉への取り組みについて一般向けの情報発信ツールとして、日本実験動物学会が作成したポスターの紹介があった。

(10) 地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会／大屋 祐輔 委員長

例年のとおり、地域枠制度、地域医療センターの現状、地域枠入学制度の一覧表、地域枠学生の転帰についての調査を実施し、現在、報告書を作成中であり、その結果に応じてリモートにて大学、自治体、支援センターの担当者による意見交換会を実施した旨の報告があった。また、地域枠医師（地域枠の卒業生）を対象としたアンケートを実施し、約1,100名から回答を得ており、現在、分析中である旨の報告があった。

(11) 患者安全推進委員会／坂本 哲也 委員長

医療事故調査制度と無過失補償制度についての検討を進めている旨の報告があった。令和3年度に実施した医療事故調査制度に関するアンケート調査の結果については、日本医師会雑誌の8月号に論文として掲載予定であり、令和4年度も経年的な調査を実施している。

(12) 経営実態・労働環境ワーキンググループ／海野 信也 座長

2年に1回、診療報酬改定の間年間に実施している大学病院経営実態調査を、令和3年度も実施し、調査結果を冊子にまとめ、会員へ提供した旨の報告があった。

(13) 臨床研究・利益相反検討委員会／苛原 稔 委員長

臨床研究法に関するアンケート調査、製薬企業等からの謝金等の受領の在り方に関する検討の

アンケート、組織 COI の現状の検討に関するアンケートを実施した旨の報告があった。また、AJMC が示している COI および臨床研究の各種ガイドラインや指針については、昨年、人を対象とした生命科学ゲノム研究の統合指針が出たため見直しを図りたい、企業が関与する講演会等で企業側がスライドをチェックする件に関しては、日本医学会と連携を取りながら対応したいとの考えが示された。

(14) 男女共同参画推進委員会／唐澤 久美子 委員長

令和 2 年度に実施した男女共同参画意識調査の結果を、世代別や性別における差をデータ化、分析を行い、冊子としてまとめた旨の報告があった。この結果を基に提言をまとめ、5月17日に厚生労働省の記者クラブにおいてプレスリリースを行った。

(15) 広報委員会／金井 隆典 委員長

過去の広報誌全てを PDF 化し AJMC 会員専用ページに掲載した、また、広報誌 No.74 刊を発行し AJMC ホームページの一般サイトに掲載した旨の報告があった。

(16) 新型コロナウイルス (COVID-19) に関わる課題対応委員会／瀬戸 泰之 委員長

新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査、新型コロナウイルス感染症に関する緊急包括支援交付金等受給状況調査を継続して実施している旨の報告があった。また、昨年 5 月と 8 月に声明を発表し、コロナ診療と非コロナ診療の両立、地域の特性を考慮しつつ大学病院としては重症に重点的な治療を行うべきであると発信した。現在、日本医師会発案の新型コロナウイルス感染症人材ネットワーク事業へ対応すべく検討しており、会員大学に協力の依頼があった。

(17) 医師の働き方改革検討委員会／横手 幸太郎 委員長

定期的に厚生労働省と文部科学省と意見交換を行い、医師の働き方改革に関するアンケート調査の実施、医師の働き方改革セミナーの開催を行った旨の説明があった。これらの結果や検討内容を基に、自民党や厚生労働省、日本医師会に説明を行い、医師や医療従事者の十分な配置、タスクシフト、シェアの拡大のための人材確保とその財源、ICT の導入等の財政支援を求めている旨の説明があった。今後も、地域医療構想、医師偏在対策と併せた三位一体の改革が並行して進むよう訴えていく必要があるとの考えが示された。

(18) カリキュラム調査委員会／伊野 美幸 委員長

2年に1度実施しているカリキュラム調査を令和3年度に実施し、結果を取りまとめた冊子を会員へ提供した旨の報告があった。今回は従来の報告書と共に、新型コロナウイルス感染拡大に関する別冊を作成し、医学教育委員会と国家試験改善検討ワーキンググループが行った調査結果も併せて報告書にとりまとめた旨の説明があった。

〔地区部会報告 提案議題〕

- (1) 公的化された共用試験の運営について／近畿地区（説明者：京都大学 岩井一宏 医学部長）
- (2) 地域枠学生の確保のための支援の要請／ 東海・北陸地区（説明者：岐阜大学 中島 茂 医学部長）
- (3) 参加型臨床実習におけるカルテ記載のあり方について  
／九州地区（説明者：鹿児島大学 橋口照人 医学部長）

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款の規定に基づき、議長が次に記名押印する。

令和4年5月27日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

定例社員総会

議長 会長（代表理事）

湯澤由紀夫

